

名犬の時間

初めての保育実習を終えて

も園へ保育実習に行ってきた。5月は緊急事態宣言が出ていたため、延期になったり予定していた園での実習が中止になったりして不安を感じている学生が多かった中、私の伺った認定こども園では期間の変更なく、予定通り実習を行うことができた。

初めての本格的な実習で、多くの学びを得ることができた。

た。その中でも「実践することの大切さ」が私にとって1番の学びになった。実習に行く前、たくさんの不安と緊張を感じていた。実習生として子どもたちや職員の方々と関わる自分が想像できず、知らないことだらけの環境で12日間も勤務することに不安を抱いていた。

しかし、実際に訪れると、初めての経験ばかりであつという間に時間が過ぎていった。子どもたちや職員の方々との関わりの中で、新たな気づきや学びがたくさんあった。それらは、大学の講義を受

けるだけでは学ぶことのできない、実践してみても初めて知ることのできる気づき・学びだった。

子どもの前で絵本を読んだときのわくわくしている表情や

なんでも自分でやろうと頑張る様子、喧嘩してもすぐに仲直りしている姿など、

実際に子どもたちと関わらなければ知ることのできないことを子どもたちはたくさん教えてくれた。

また、職員の方々

がどのように連携をとって日々の保育をおこなっているのか、どのように子ども一人ひとりと向き合っているのかなど

今回の実習で得たものを生かし、これからの実習や大学生活をより豊かで充実したものにしていきたい。

今回の実習で、新たな気づきや自分自身の課題、もっと知りたいという意欲を得ることができ、とて

